## Patent Abstracts of Japan

(11)Publication No.: 58-784

(43)Date of publication of application: January 6, 1983

(21)Application No.: 56-95741(22)Date of filling: June 26, 1981

(71)Applicant: SANYO ELECTRIC CO., LTD

Title of Invention: WASHING MACHINE

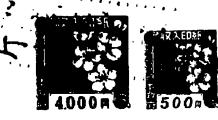
#### ABSTRACT:

1

(Translation of Claim 1)

The part including the motor for the washing etc. is set up in a bracket. Simultaneously, the lower edge end of the outside equipment is connected to the end of a bracket. The hole for cutting the rear part of the outside equipment from the lower edge end to the top and repairing the electrical equipment and checking out is formed. And the hole has to be attachable, screw and fix a cover on a hole

The washing machine wherein they fit to the screw-hole of a cover and a screw-hole is formed on a bi-edge with the upper edge of a hole; the home is formed on the end of the bracket comprising the low edge of a hole with the rib of the even around; a projection is alternately formed on a rib to the groove inside; the lower edge end of a cover is inserted and is fixed in the groove inside and a projection contacts with each other with a projection; the push unit is set up in one side at least; a cover and hole surrounding are contacted with each other with the fixed screw time with the push unit; and an interval is formed on the part without the screw-hole of the cover girth and bi-edge with the upper edge of a hole.





 $(\ 4.700.-)$ 



実用新案登録願(9)後記号なし昭和56年6 間日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

か か <del>\*</del> 機

2. 考 案 者

住所 守口市京阪本通2丁目18番地 サンミニアン ホール ト 4 11 古

三洋電機株式会社内

氏 名

9 出 三

\* 男(外2名)

3. 実用新案登録出願人

住 所 守口市京阪本通2丁目18番地

名称 (188) 三洋電機株式会社

代表者 井 植

4. 代 理 人

住 所 守口市京阪本通2丁目18番地

三洋電機株式会社内

氏 名 弁理士 (8550) 佐 野

連絡先:電話(東京)835-1111 特別センター駐在 鎌田

特許庁 56. 6. 29 出職第二級

静

904

堇

方式

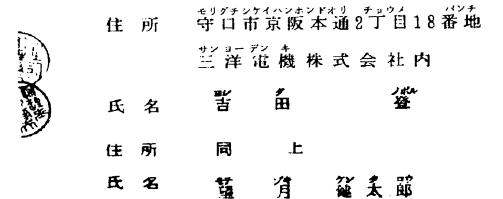


実開58-784

56 095741

## 5. 添付書類の目録

- 1 通 **(1)** 明 細 書 通 1 (2)凶 面 通 副 本 (3) 願 通 **(4)** 委 任 状
- 6. 前記以外の 考案者



- 1. 考案の名称 冼 圏 機
- 9. 実用新案登録請求の範囲
- 洗瀬用のモータ等の電装品を基合に取付け (1) ると共にこの基台の上端に外装の下端を連結し、 上記外装の背部を下端から上方に切欠して上記電 装品を修理、点検するための實孔を形成し、この 選孔にカパーを着脱 自在にピス止めするものに於 いて、上記窓孔の上級及び両側線に上記カバーの ピス孔に合せてピス孔を穿殺し、上記選孔の下継 を構成する上記基合の上端には並行する円外のり プによって満を形成すると共に各りプには実部を 進内に向けて交互に形成し、上記カバーの下端を 上記滑内に揮着して各突部に当接させ、上記カバ ーのヒス孔羅囲と塞孔のヒス孔周囲との少くとも 一方に塞押し部を設けてピス止め時にその塞押し 部によって上記オパーと窓孔舞台とを当接させ、 **巡孔の上縁及び両側縁とカバーの馬縁とのピス孔** の無い部分に間隔を設けたととを特徴とする洗濯 微。



2 .

(2) 上記内側のリブに突部の内の最も外側に位置する実際を形成したことを特徴とする実用新案 登録請求の範囲第1項記載の洗濯機。

### 8. 考案の辞編な説明

本考案は洗濯機に関し、特に外接の背部に電鏡 品を挙環、点検する選乳を設け、この選孔を選ぐ カバーが電装品の駆動時に取付部分にてビビリ音 を発生しにくいようにしたものである。

従来、カバーを懲孔周録にピス止めしていたが、 電装品のモータが駆動した時にカバー周録と窓孔 周録の内のピス止め部分から離れたところでピリ り音を発生し、そのためにカバー周録か露孔周録 にクァション材を貼着する必要があった。又、外 装に別の基金を連結するものでは、上記窓孔の下 録を基合上端にで構成することがあり、との場合 は基合上端に構を形成してカバー下端を を基合上端に構むが成してカバー下端を はたので、やはりカバー下端が振動した時に 満たので、やはりカバー下端が振動した時に 面に当ってピリ音を発生していた。

本考案はこのピピリ書の発生を防止することを 目的とするもので、同時にその防止構造によって カバーのビス止め作業を簡単にするものであり、 以下に図面に基づいて説明する。

(1)は極金製の外装(2)の下端と岩脂製の基合(3)の 上端とをピス等で連結して成る洗濯機で、基合(3) には洗剤用のモータや脱水用のモータ等の電装品 (図示せず)を取付けている。(4)は外装(2)の背部 に形成された上記電装品の修理、点検のための窓 孔で、外装下端を上方に切欠したものであり、そ の上級及び両側線(5)(5)を設落もして形成すると共 に下級を基合(3)の上端にて構成している。

(6)は基合(3)の上端に、一対の並行する内外リブ(7)(8)によって形成された溝で、内リブ(7)を窓孔(4)の両側線(5)(5)と面一に成るように配設している。そして、内リブ(7)は外リブ(8)より高くしてあり、その両側部と中央部とに溝内に突出する突部(9)…を形成し、一方外リブ(8)は上紀三個の突部(9)…を形成し、一方外リブ(8)は上紀三個の突部(9)…間に溝内に突出する突部(90を形成し、この結果突部(9)…、00…を平鳥状に配設している。又、上紀各突部(9)…、00…は各リブ(7)(8)の上端から溝(6)内に向けて下降する傾斜面間…を形成している。

13は上記意孔(4)に着脱日在にピス止めされてその意孔を握ぐ平板状のカバーで、上部三ケ所と両側とにピス孔を察散すると共に、このピス孔属器にだけ意孔(4)の設落ちよりも少し浅い底押し部は、セポ版している。尚、第孔(4)の上級及び両側線(5)(5)にはカバー13のピス孔に合せてピス孔が穿散してある。

ここで、上記カバーロ2を塞孔(4)にピス止め、作業について説明する。まず、カバーロ3を塞孔(4)の両側線(5)(5)に沿って下降し、下端を溝(6)内に強く挿入する。すると、その下端は突部(9)ー、00…の傾斜面のいにガイドされて溝(6)内に入いり、被板状に換んで各突部(9)ー、00…に圧接する。そして、カバー10の両側部は内リブ(7)の両側の突部(9)(9)によって窓孔(4)の両側線(5)(5)から離れるように偏奇される。従って、カバー13は下端が溝(6)内に突部(9)ー、00…によって変持されるので、挿入した直立状態に保持されている。この直立状態でカバー03の間線を窓孔(4)の上線及び両側線(5)(5)に押当てると、カバー13の座押し部13…が塞孔(4)の上線及



び両側線(5)(5)に当腰され、この脳押し部は…のないカバー周線とピス孔のない窓孔間線との間に間隔(t)を形成する。そして、カバー82と窓孔(4)とをピス孔を利用してピス組…で止着する。このピス止め時、カバー82の両側が露孔(4)の両側線(5)(5)に管着すると、カバー82と内リブ(7)の両側の突部(9)(9)とが強く圧役されるので、カバー82の下端と溝(6)との圧受力が大きくなる。このピス止め終了局にはカバー82は外装(2)の背部の面よりも少許いんだ状態に成る。尚、間隔には電装品の駆動時に外装(2)やカバー83が振動しても互いに振れ合わない程度に設定される。

かくして、電装品が駆動している状態では、上記カバーQ3と基台(3)は予め互いに圧接しているので扱れ合うことが無く、カバーQ3と外装(2)は間隔(t)によって振れ合うことが無く、よってビビリ音が発生しない。

本実施例に於ける監押し部間…はピス目…の頭をカバー02の面より突出させないと云う作用も成す。又。他の実施例として監押し部間…は窓孔(4)

## 公開実用 昭和58— 784

Q

のピス孔周囲に形成しても良く、更にカバー03及び摩孔(4)の双方のピス孔周囲に形成しても良い。 更に、他の実施例として実部(9)…、00~は、四外 リブ(7)(8)に複数個ずつ交互に形成しても良く、又 四リブ(7)側に複数個連続形成した後に外リブ(8)側 に一個形成すると云うように不規則な状態で交互 に形成しても良い。



(字) 対



この間隔によって電装品駆動時にカバー関縁と窓 孔間縁が振れ合うことが無く、ピピリ音の発生を 防止できる。よって、カバーのピス止め部分から 従来発生していたピピリ音を解消できると共に、 この構造によってカバーのピス止め作業を簡単に できるものである。

#### 4. 凶面の簡単な説明

第1図は本考案による洗濯機の背面斜視圏、第2図はカバーを外した状態の要部斜視圏、第3図(イ)四は第1図のA-A及びB-B断面圏、第4圏は要部の横断面図、第5図は第4図のC-C瞬面図である。

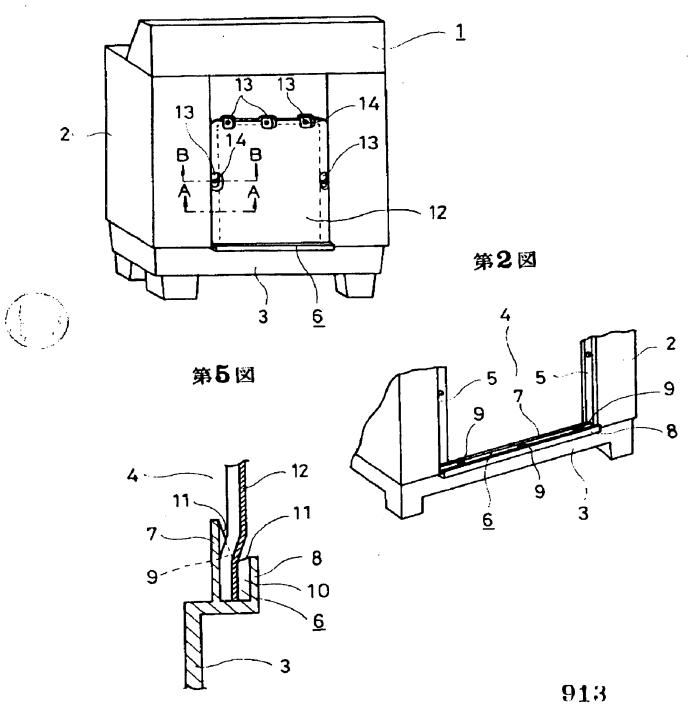
(2)…外装。 (3)…蓋台。 (4)…窓孔。 (5)…傷 縁。 (6)…溝。 (7)(8)…四外リブ。 (9)(0)…突部 02)…カバー。 (3)…盛押し部。 44…ピス。 (1)…間隔。

出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 佐 野 静 夫

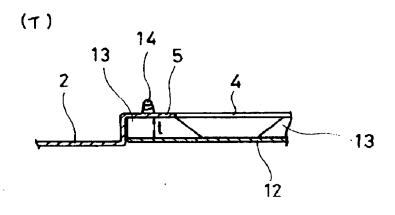


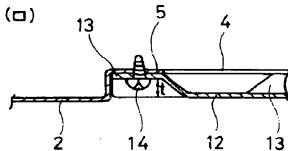
第1 図

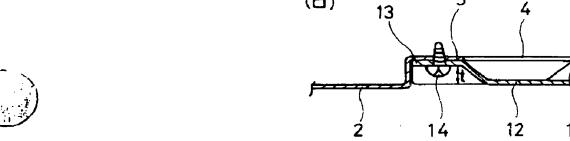
į



出願人 三洋電機株式会社代理人 并理士 佐野静夫 実開58-7





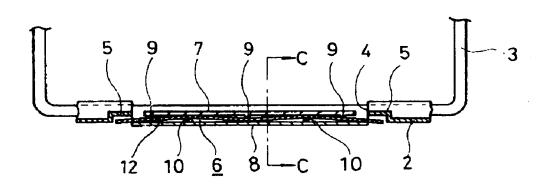


2

9

8

第4 図



914 出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 佐

美聞58-784~22

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.